

# 【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

放課後デイサービスtoiro

上矢部

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いいない
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切かどうか	8	0	1
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	1
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	3
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	2
	5	保護者等向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	1
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	2
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	2
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	1
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	2
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	1
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	0	7
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	3
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0

		チェック項目			
援 適 の 切 提 な 供 支	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	1
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	0	3
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	2
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	8	1	0
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	0	8
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	5
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	5
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	5
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	4
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	5	2
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	1
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	2
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	2
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	1
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	4
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	1
		チェック項目			

		チェック項目			
説明責任への	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	1
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	4
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	9	0	0
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	2
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	3
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0

## 【改善目標・工夫している点について】

### 【工夫している点】

- ・定期的な研修の機会があり、職員個々のスキルアップに繋がっている。
- ・児童の支援における共有事項は、連絡アプリのノートにて共有している。また、送迎の際の保護者への申し送りに関しては最大限児童の様子をお伝え出来るよう努めている。
- ・怪我防止策として、視覚提示を行っている。また、死角のないようカメラを事業所内に6台設置しており、万が一職員の見えていない状況で起きた怪我についても事実確認が出来る。
- ・本人・家族に対してのアセスメント結果を活動に取り入れ意欲的に参加出来るよう努めている。
- ・職員会議内で、改善点を協議する場が設けられており、より良い環境作りが出来るよう工夫している。
- ・あらゆる場面において『事前告知』が職員間で習慣化されてきており、見通し不安の解消に繋がっている。

### 【改善目標と具体改善策】

- ・職員が1人待機の際に避難が必要になった時の対応がわからない。  
⇒あらゆる場面想定での避難計画、マニュアルの作成
- ・具体的課題に対して協議するが、決定したことが定着せずに流れてしまうことがある。  
⇒毎月の職員会議で進捗状況の確認を行う。
- ・入口付近に設置されている児童用のロッカーが固定されていないため、地震が発生した際、ロッカーが倒れて避難路を塞いでしまう危険性がある。  
⇒早急に固定していく。